

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	本人がより良く暮らせる為の課題とケアのあり方について、本人・家族・職員と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成する。	ご本人・ご家族がどのような事を望んでいるか、聞いたり、会話の中から感じたりし、どの様にケアしたり、関わりを持ったりするか介護計画書を作成し、職員共有して、ケアにあたる。	ご本人の日々の関わりや、ご家族の面会時に話をする事で、どのような思いがあるか感じた事を、職員全員で共有する。日頃の関わりにしていく。	12ヶ月
2	48	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、役割、楽しみ、気分転換の支援をしていく。	人それぞれ出来る事や感じる事は違う為、その人に合った支援を個々にしていく。	家事全般(下準備・皮むき・盛り付け・掃除・洗濯干し・たたみなど)や散歩・ドライブ・字を書くなど、ご自分が自信を持って出来る事や、その方に合った事をしていただく。	12ヶ月
3	35	避難訓練を年に二回は行っている以外の地震や水災害時の職員はどのようにした対応をしたら良いか、徹底できていない。	避難訓練はもちろんの事で、いざとなった時の地震や水害などの時にまだまだ災害時の職員一人一人の知識が常に必要である。	災害訓練は年二回している。地震や水害の対応に戸惑いがあり、実際に災害時に使う機材を使って、災害時の知識を取り入れていく。また本社と連携して、その時に一番の最善の対応を伝える。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。